

協働事業プロセス相互検証シート

1 事業計画段階

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

- ・子育て世代包括支援センターの取組はモデル区として市の方針に沿って取組を整理し、双方の役割を確認し事業計画を立てた。
- ・必要と考える子育て支援について、共通の認識を持ち、双方の強みを確認し協働で進めた。

【今後改善が必要と思われること】

- ・効果的な事業実施になるように、新たな事業を計画するにあたっては、内容について細かく確認をしていく。

2 事業実施段階

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

- ・妊娠期を対象とした事業を、区の専門的なアドバイスを受けながら企画準備し、対象者のライフスタイルに合わせて参加しやすい形で実施した。
- ・より身近な地域の子育て支援が充実するための取組について、事務局としてネットワークの充実をはかり、新たな人材の育成についても協働で実施することができた。
- ・個々の事業について、定例会の中で十分に掘り下げて話し合えるとよかった。必要と考える部分については、目指す姿や事業の位置づけをより意識し、共有や確認していくことが重要。

【今後改善が必要と思われること】

- ・拠点事業について、より多くの区民に理解が広まるよう、区の強みを活かして周知を行う。
- ・事業振り返りのため、会議時間や進行管理を明確にし、より有効な会議としていく。

3 事業の振り返り段階

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

- ・ライフステージが変わっても親子が継続して利用できる拠点の強みを認識し、双方が支援に活かすことが出来た。
- ・定例会の場で事業のねらいや実施の効果を確認し、次の事業計画に生かすことができた。
- ・振り返りの作業を行う中で、泉区の目指す子育て支援の姿を再確認できた。

【今後改善が必要と思われること】

- ・切れ目がない子育て支援について、区や地域の関係機関ともさらに連携を深め、継続して話し合いを実施する必要がある。